

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-226	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	論Ⅱ 701	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法第2条の目的および理念を踏まえ、その目標達成を可能にし、かつ、論理・表現Ⅱに示される目標に達するため、以下を編修の基本方針としました。

① 3領域（やり取り、発表、書くこと）の育成に適した日常的・社会的な場面の活動を通して、本物のコミュニケーション力を育成する教科書

- ・すべての Lesson において、生徒がコミュニケーションの目的や場面を明確に意識しながら言語学習を進めることができます。
- ・コミュニケーションのモデルとしてふさわしい英語を提示し、実践的な表現に触れながら学習することができます。

② 失敗することを恐れずに、発信する態度を養う教科書

- ・すべての Lesson において、モデルの提示に先んじて、まず英語での発信に挑戦するコーナー Give It a Try を設けることで、生徒の発信への関心、意欲を喚起することができます。

③ 「まねる」から一歩踏み出し、テーマを「自分ごと化」して考え、発信できる力を育む教科書

- ・Give It a Try の活動に刺激を受け、自分の頭を使って考える習慣を身に付け、「自分ごと化」して発信できるようにしています。
- ・丁寧にステップを踏んで表現活動を行う Make Your Own では、Hints と Skills などを示すことで、生徒がテーマを「自分ごと化」しやすいようにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	<p>① さまざまな題材を扱い、目的や場面、相手に応じて論理的、効果的に伝える方法を学ぶことで、幅広い知識と論理的な思考力を養います。(第1号)</p> <p>② 言語活動を通して、他人の価値観や意見を尊重しながら、自分の考えに基づき積極的にコミュニケーションできる態度を養います。(第2号)</p> <p>③ ペアやグループで協力して行う言語活動を豊富に用意することによって、自他を大切にし、協力し合う心を養います。(第3号)</p> <p>④ 持続可能な社会について日常生活の中で議論し、改善策を提案させる言語活動を通して、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養います。(第4号)</p> <p>⑤ 国際社会の平和と発展を目指す上で、他国との相互的で健全なコミュニケーションが一層求められる現在において、自国の伝統や文化について知り、それを他国に向けて発信する能力を養います。(第5号)</p> <p>⑥ 日本語の論理と英語の論理の違いや、日常的な常識の違いを学ぶことで、自国の文化を見つめ直すとともに、他国の文化を理解し、尊重する心をはぐくみます。(第5号)</p>	<p>① Unit 1, 2 各 Lesson の Model</p> <p>② Unit 1, 2 各 Lesson の Make Your Own</p> <p>③ Unit 1, 2 各 Lesson の Give It a Try および Make Your Own</p> <p>④ Unit 2 の Lesson 2</p> <p>⑤ Unit 1 の Lesson 2, Lesson 7, 11, Unit 2 の Lesson 4</p> <p>⑥ Unit 1 の Lesson 2, Lesson 7, Unit 2 の Lesson 4, Lesson 7, Lesson 8 および Unit 1, 2 各 Lesson の TIPS</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 生徒の自立的な学びを促す取り組み

図書の構成・内容	留意点	該当箇所
コラム 巻末	① シャドーイングを含めた音読のさまざまな効果をわかりやすく示すことで、これまでの音読を見つめなおし、効果的な音読練習を行うことを促せるように配慮しています。	① p.6
	② プレゼンテーションでよく使われるグラフや図表の種類を俯瞰することで、より目的に合った視覚資料を使おうとする態度が養えるように配慮しています。	② p.56
	③ アメリカ式とイギリス式のつづりを学習することで、英語の多様性に気付かせることができます。	③ p.90
	④ 音読や書き取りや作文などにも利用できるようにガイドを付した日本語訳例で、日々の学習を自ら工夫できるように配慮しています。	④ pp.92-96
	⑤ I, II で扱った有用な表現を機能別に再構成した一覧を使うことで、表現の機能やその論理に対して、意識を向けることができるように配慮しています。	⑤ pp.97-111

② 教育の ICT 化への取り組み

図書の構成・内容	留意点	該当箇所
全体	① 各 Lesson のモデル文に付した二次元コードを機器で読み取ることで、手軽にモデル文と重要フレーズの音声を聞けるため、学校でも家庭でも音声を活用した学習ができます。なお、音声には URL からアクセスできます。	① Unit 1, 2 各 Lesson の Model
	② 「やり取り」「発表」を中心に扱う Lesson では、モデル文に付した二次元コードを機器で読み取ることで、手軽に当該 Lesson のモデル文の動画を視聴することができるため、学校でも家庭でも動画を活用した学習ができます。なお、動画には URL からアクセスできます。	② Unit 1 の Lesson 1-3, 5-7, 9-11 および Unit 2 の Lesson 1-5

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-226	高等学校	外国語	論理・表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	論Ⅱ 701	NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

■全体構成

- ・「やり取り」「発表」「書くこと」の3領域のバランスに配慮して、全体で20のLessonを2つのUnitに分けて構成しています。
Unit 1は、ボストンから留学してきた双子の主人公のストーリーを中心にする
 ことで、高校生の日常の場面を通して、コミュニケーションを学べるよう
 にしています。
Unit 2は、さまざまな話題について、技能ごとに集中的に学習することで、
 発信力をより強化できるようにしています。
 20のすべてのLessonで状況を明確に設定し、生徒がコミュニケーションの目
 的や場面を明確に意識しながら言語学習を進めることができるようにしてい
 ます。また、コミュニケーションのモデルとしてふさわしい英語を提示し、
 より実践的な表現に触れることができるようにしています。
- ・Unit以外に、活用と確認のためのパートとして、活用ガイドつき「Model日
 本語訳例」と、本教科書(Ⅱ)で扱う表現に加えて、本シリーズⅠで扱った
 表現を含めた「使える機能別表現一覧」を巻末に設置し、表現活動の幅を広
 げることができるようにしています。

■各パート

① Lesson

a. Warm-up

- ・Lessonの内容に関連するQ&Aや語彙に関連する活動などに、クラス全
 体、ペア、グループで取り組むことで、Lessonの内容への興味、関心を
 高められるようにしています。

b. Give It a Try

- ・LessonのModelに取り組む前に、まず英語での発信に、ペアやグループな
 どで取り組むことで、みずからの英語力の現状を把握し、コミュニケーシ
 ョンへの関心、意欲を喚起できるようにしています。

c. Model

- ・ **Lesson**の内容に関連するコミュニケーションのモデルです。TIPSでは、英語の論理や表現を学習することができます。また、欄外には、言語活動の妨げにならないように配慮しながら、**Model**で使われている重要な文法項目を表示し、その学習を促しています。自らの発信力の土台となる文法について、自ら調べるための契機となるように工夫しています。

d. Make Your Own

- ・ **Lesson**の最終タスクである自己表現活動です。Give It a Tryや**Model**でのコミュニケーション活動を通じて、みずからの発信力の上達を実感できるように工夫しています。

② **Model**日本語訳例

- ・ 日本語と英語の対応を見るだけでなく、音読や書き取りや作文などにも利用できるようにガイドを付し、アウトプット活動の下支えの支援になるように工夫しています。

③ 使える機能別表現一覧

- ・ 本教科書（Ⅱ）で扱う表現に加えて、本シリーズⅠで扱った表現を機能別に再構成したリストです。検索性を考慮し、機能から表現を検索できるようにしてあります。また、表現についての補足説明を適宜加え、学習者の表現の幅が広がるようにしています。

④ コラム

a. 表現のための音読のススメ

- ・ シャドーイングを含めた音読のさまざまな効果をわかりやすく示し、アウトプット活動の基礎練習としての音読についてまとめたページです。Ⅱの学習を始めるにあたって、これまでの音読を見つめなおし、効果的な音読練習を行うように促すことができます。

b. プレゼンテーションで使う資料

- ・ プレゼンテーションでよく使われるグラフや図表の種類を示したページです。グラフや図表の種類を俯瞰することで、より目的に合った視覚資料を選択することを促すことができます。

c. アメリカ式つづりとイギリス式つづり

- ・ アメリカ式つづりとイギリス式つづりを示したページです。英語の多様性に気付かせることができます。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当 時数
		2 内容	3 内容の 取扱い		
表現のための音読のススメ		(1) ア(イ)	3	6	0
Unit 1	Lesson 1	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アイ(ア), ②ア(ア), イ(イ)(ウ)	3	8-11	3
	Lesson 2	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アイ(ア), ②ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)	3	12-15	3
	Lesson 3	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アウ(ア), ②ア(ア), イ(オ)	3	16-19	3
	Lesson 4	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アエ(ア), ②ア(ア)(ウ), イ(イ)(オ)	3	20-23	3
	Lesson 5	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アイ(ア), ②ア(ア)(イ)(ウ), イ(ウ)(オ)	3	24-27	3
	Lesson 6	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アイ(ア), ②ア(ア), イ(ア)(オ)	3	28-31	3
	Lesson 7	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アウ(ア), ②ア(ア)(イ), イ(ア)(ウ)	3	32-35	3
	Lesson 8	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アエ(ア), ②ア(ウ), イ(イ)(ウ)(オ)	3	36-39	3
	Lesson 9	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アイ(ア), ②ア(ア)(イ)(ウ), イ(エ)(オ)	3	40-43	3
	Lesson 10	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アイ(イ), ②ア(ア), イ(エ)	3	44-47	3
	Lesson 11	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アウ(ア), ②ア(ア), イ(ウ)	3	48-51	3
	Lesson 12	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アエ(ア), ②ア(ア), イ(ウ)(エ)	3	52-55	3
プレゼンテーションで使う資料		(1) ア(ア)	3	56	0
Unit 2	Lesson 1	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アイ(イ), ②ア(ア), イ(エ)	3	58-61	3
	Lesson 2	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アイ(イ), ②ア(ア), イ(エ)	3	62-65	3
	Lesson 3	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アイ(イ), ②ア(ア), イ(エ)(オ)	3	66-69	3
	Lesson 4	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アウ(イ), ②ア(ア), イ(イ)(ウ)	3	70-73	3
	Lesson 5	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アウ(イ), ②ア(ア)(イ), イ(ウ)(エ)	3	74-77	3
	Lesson 6	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①ア, ②ア(ア), イ(エ)	3	78-81	3
	Lesson 7	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アエ(イ), ②ア(ア), イ(ウ)	3	82-85	3
	Lesson 8	(1) ア(ア)(イ) (2) アイ (3) ①アエ(イ), ②ア(ア), イ(エ)(オ)	3	86-89	3
アメリカ式つづりとイギリス式つづり		(1) ア(イ)	3	90	0
Model 日本語訳例		(1) ア(ア)(イ)		92-96	0
使える機能別表現一覧		(2) ア(イ)		97-111	0
				計	60